

**ファミリーキャンプ体験**

# **親子でいっしょに仲良しキャンプ in 荒神山 開催しました！**

10月7日（土）から8日（日）にかけ荒神山自然の家において「家族で一緒に仲良しキャンプ」、ファミリーでのキャンプ体験会を開催しました。昨年度は、もう2週間ほど後の実施でしたが、気候的にも10月の初旬がふさわしいのではという反省から2週間ほど前倒しにしました。ところが今年の猛暑。10月の初旬でも暑さが厳しいのではと心配しましたが、10月の声を聞くと同時にめっきりと気温が下がり、かえって下がりすぎではと心配もしましたが、無事開催にこぎ着けられました。ところが今度は、雨の心配が……。天候や気温には振り回されました。

この体験会は、家族を対象に、荒神山自然の家でのキャンプや野外炊事等を通じて、野外体験活動の楽しさを体験しながら、家族間の交流を図ることを目的に、例年実施しているものです。初日の7日の午後1時からはじまりました。市内から4家族、市外から1家族の5家族、合計18名が参加されました。年齢も最年少は幼稚園年長児、そして小学校低学年、高学年、中学生、保護者も幅広い層からご参加していただきました。また、参加家族も親子2人の家族もあれば、5人の家族もありいろいろでした。

まず、不安と緊張の中で集まったファミリーの緊張を解きほぐすために家族紹介を行いました。天候もよかったので、クラフト棟前で所員、参加者、支援スタッフ一同がサークルを作り自己紹介タイムです。いろいろな動きあり、意外な展開ありで面白おかしく過ごせました。家族同士・子どもたちが打ち解けあった後、就寝場所となるテント設営を行いました。テントを立てたことがない家族も、みんなが協力し合い組み立てました。自然の家保有のテントを設営しましたが、テント設営は複数でないとなかなか進みません。お互いに助け合ってテントサイトに無事テントを張ることができました。特に、人数が少ない家族への手助けや支援スタッフの頑張る姿が目につきました。

その後、新企画のオリジナルランタンづくりへと移っていきました。夜にテントの中や食卓で幻想的に彩るオリジナルなもの。まず、底が直径約10cm、高さが約15cmの蓋付きの透明プラスチック容器を活用します。家族に2個程度作成しました。作り方はいたって簡単。半紙を容器にあわせきり取り、思い思いのイラストなどを水性ペンや油性ペンで描き、それを容器に沿うように丸め、蓋の部分が下になるように逆さまに敷き詰め、準備したLEDのライトを入れ込んで蓋を閉じればオリジナルランタンの完成。ここはなんと言っても思い切りのいい子ども達が本領発揮。素敵なイラストや図柄を書き込んでとても素晴らしいものが出来上がりました。

そして、夕飯の準備に。夕飯は野外炊事です。メニューは、「パエリヤ」「キャベツとウィンナーのスープ」です。それぞれの家族が協力して、火をおこし、野菜を切り分けて米を入れ炊きあげます。一方で、ウィンナー、キャベツ、タマネギ、ほうれん草を入れスープづくりです。

今回のコンテンツは、普段使わないダッチオーブンを使った料理にチャレンジしようです。最近のキャンプブームで認知度は上がってきましたが、あまり使ったことのない道具に多少の戸惑いもありました。このダッチオーブンは、慣れるととても使い勝手のいい道具で、煮る、炊く、蒸すなどの行程が同時に進行する優れものです。みなさん自分たちの作った夕ご飯を、夕暮れの中で美味しそうに食べておられました。

その後は家族タイムです。家族で思い思いの時間を過ごしていただこうとあえて全体を共通しての設定は計画段階でしないでおこうということにしました。

野外散策（ナイトハイク）に出かける家族、星空の観測をする家族、かがり火ファイヤーやスウェーディッシュトーチで炎を見つめる家族、テントで遊びやゲームをする家族など思い思いの時間を過ごしました。また、準備したかがり火ファイヤーやスウェーディッシュトーチには、子ども達は大喜び。とび散る火の粉を交わしたり、追いかけたりと大はしゃぎ。さらに昼に作ったオリジナルランタンを持ち小山を駆け回るなど自由闊達。楽しい時間をともに過ごすことができました。このように非日常の家族共有の時間を過ごせたことはどの家族にあっても、貴重な時間となりました。

それぞれの活動からテントサイトに戻り、いよいよ就寝です。一日の心地よい疲れを癒し、ゆっくり過ごしました。夜になると一段と寒くなると思って、布団や毛布をテントの中に仕込んで、万全の対策をとっていましたが、幸い思っていたよりも寒くならずすみ、中には眠れなくて遅くまで起きていた方もありましたが、気づくと、いつの間にか、みんな、すやすやと寝息を立てていました。

2日目の8日（日）は、朝6時30分の起床です。しかし、毎日の日課で朝の目覚めの早い家族は、まだみんなが寝息をたてている前から起き出しました。早朝は、肌寒さを感じるので、みんな揃ってウォーキングに出かける家族もあれば、モーニングコーヒーとしゃれ込む家族もありとさまざまでした。また、ぐっすり眠れた人も、そうでない人も、みんな揃って、気持ちよく新鮮な空気を身体いっぱいに感じました。

朝食は、キャンプで定番。手軽に作れるカートンドッグ(いわゆるホットドッグの一種)です。切り込みの入ったホットドッグ用のパンにキャベツの刻んだものを挟み込み、その上にソーセージとチーズをのせ、アルミホイルでくるみ、乾燥させた牛乳パックにいれて着火。パックが燃え尽きたら完成です。ケチャップやマスタードをかけ、ヨーグルトとオレンジジュースでキャンプ朝ご飯の完成。雰囲気が出ました。朝食後、それぞれが寝たテントを干して後片付けの準備をしました。そして、2日目のメイン活動である創作活動の体験に移りました。

創作活動は、荒神山自然の家が実施している体験活動の一つです。

琵琶湖に流れ着いた流木を加工して、マイスプーンとマイフォークづくりです。幼稚園児の小さな参加者も、器用にのこぎりを使ったり、やすりでこすったりと何とかできることを探して作業をしていました。完成後雨が降り出すことが予想されたので、テントの後片付けを全員で行いました。とてもテキパキとできなんと1時間ほどの余裕ができました。そこで、家族毎にマウンテンゴルフで楽しんだり、自然の家が準備した樹木探索で敷地散策したり、フォトテーリングなるものでクイズを解いたりと思

い思いの活動に興じることができ格別な時間を過ごすことができ思わぬプレゼントになりました。

創作活動の体験終了後、作業工程の関係で残念ながら早速作成したスプーンを使って食事とはいかなかったのですが、食堂で子ども達に大人気で評判のカレーをいただきましたおいしさに満足。アンケートを記入してもらい、終わりのつどいを行って13時すぎに解散となりました。

1日目には風がとても強かったものの比較的過ごしやすい天候に恵まれる中で、参加してよかった。今度も参加したいとの声をいただきながら、事故等もなく盛況のうちに終わられました。皆様お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。今後も自然の家は、さまざまな分野で体験活動を展開していきますので、ご参加よろしくをお願いします。

## 活動の様子(写真集)

### 1日目(10/7 土曜日)



アイスフレイクの様子



テント設営







**オリジナルランタンづくり**



**ダッチオーブン料理づくり**



**かがり火ファイヤー、スウェーディッシュトーチ**





## 2日目(10/8 日曜日)



諸旗掲揚

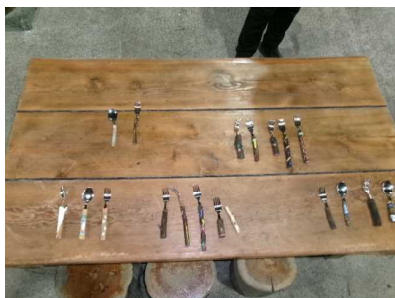
朝食



テント撤営



クラフト活動



お楽しみ活動

